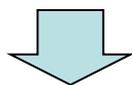


# 山口市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年5月～25年3月)

※ 期間延長適用後

## 【中心市街地を巡る状況】

- 戦災をまぬがれ、中世からの昔のたたずまいが残る盆地で、歴史・文化・自然が融合した地域
- 明治維新以降、県庁所在地として様々な都市機能が集積
- 近年、相次ぐ郊外大型店の出店、商店街では大型店舗の閉店

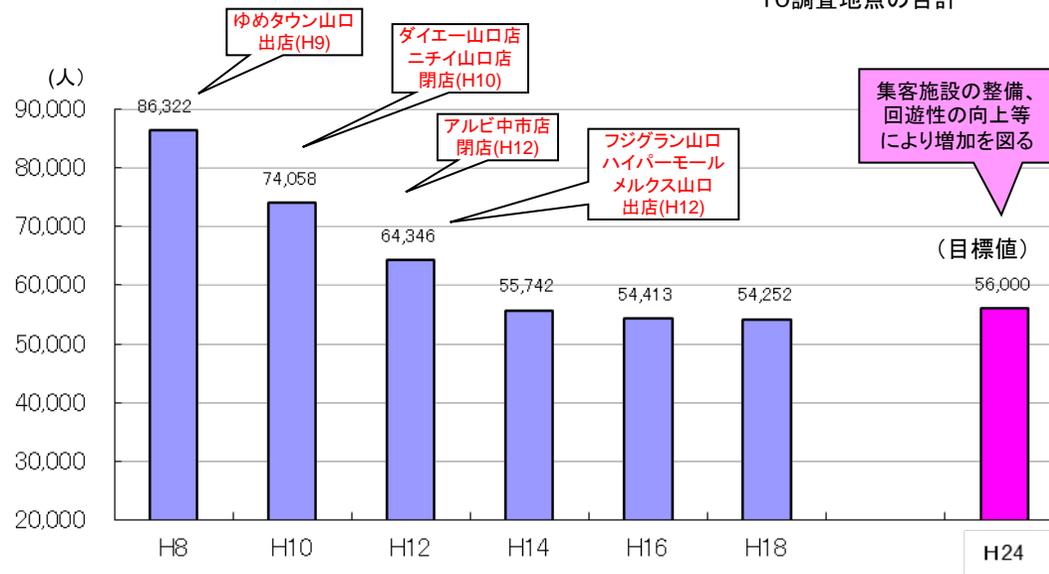


## 【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H24)
自然と文化に彩られた人々を惹きつける魅力ある中心市街地の形成	商店街通行量(休日)	54,252人(H18)	56,000人
	小売業年間商品販売額	10,731百万円(H15)	11,000百万円
自然と文化に彩られた誰もが住みたくするような中心市街地の形成	居住人口	3,968人(H18)	4,200人

## 【商店街通行量(休日)の動向と数値目標】

\*アーケード内及び主な通り10調査地点の合計



## ○商店街通行量(休日)の減少

86,322人(H8) → 54,252人(H18) [△37.2%]

## ○小売業年間商品販売額の減少

14,149百万円(H8年度) → 10,731百万円(H15年度)  
[△24.2%]

※商業統計調査の産業中分類における「織物・衣服・身の回り品小売業」、「飲食料品小売業」の2分類の小売業年間商品販売額の合計とする。

## ○中心市街地の人口減少

4,118人(H7) → 3,968(H18) [△3.6%]

歴史文化、芸術文化、自然、都市景観などの豊富な地域資源を活かしながら、中心部において商業・サービス機能の拡充を図り、親しみのある暮らしやすいまちづくりに取り組む。

# 山口市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## サービス機能の充実

### ○空き店舗を活用した活動

: 市民活動の参加へのきっかけづくりと活動支援を行う**市民活動支援センター「さぼらんて」**

: 子育て中の親子を支援する**子育て支援拠点施設「てとてと」**

: 地元大学生の参加による**高齢者の買い物のサポート、まちの案内を行う「ほっとエスコーター」事業**

: 交流サロン事業の実施、電動カートや車いすの貸し出しなど、**高齢者、障がい者への福祉の増進を図る事業を実施する「ほっとサロン中市」「まちのえき」**

○空き家となった民家を活用し、**高齢者のデイサービス事業**や、サロン等交流の場を設置。

○中心市街地内外を結ぶコミュニティバスの運行や、商店街で買い物をする駐車料金を割引く(2,000円で1時間無料)**共通駐車サービス券の運用**を実施。



市民活動支援センター「さぼらんて」



子育て支援拠点施設「てとてと」



「ほっとエスコーター」



ほっとサロン中市「まちのえき」

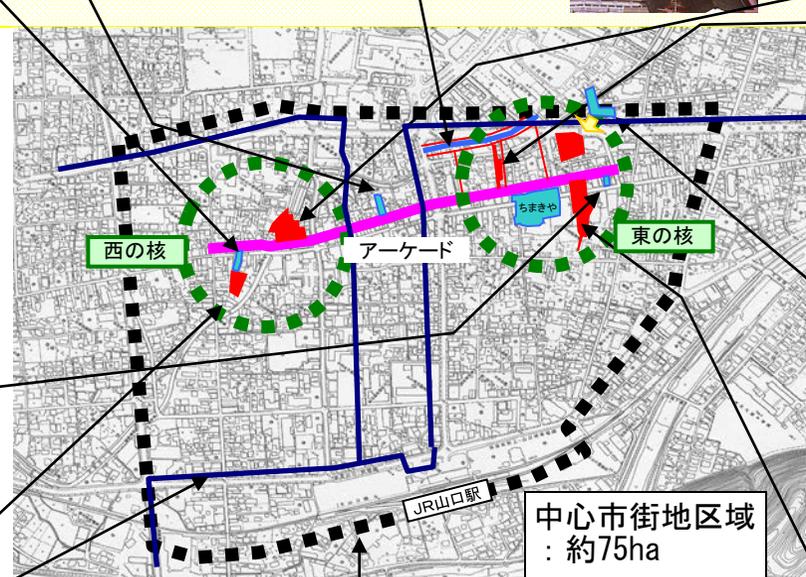


コミュニティバス

## 自然と文化の薫るまちの創出

○自然に配慮した河川の整備と、川沿いの市道における電線地中化、美装化、植栽、ベンチの設置等を行い、**市民が楽しんで歩き、憩える河川空間に再生。**

○小学校の児童も参加して、地元の会による**ホタルを守る活動**を実施。



中心市街地  
: 約75ha

## まちなか居住の促進

○借上型市営住宅の整備や、高齢者が自立して生活しやすい居住環境の整備により、まちなかの定住人口の定着を図る。

## 商業等の活性化

○大型スーパー撤退後のビルを**建替**し、食品スーパー、教養文化施設などを整備し、商業の活性化と福祉の増進を図る。



どうもんパーク(仮称)事業(完成予想図)

○川とアーケードを結び**回遊性を向上**させるよう回廊型店舗を整備。



米屋町商店街北地区整備事業(完成予想図)

○老朽化した市場を中心市街地内に**移転整備**。中心市街地に不足している生鮮食品店の確保と利便性の向上を図る。



市場移転再生事業(現況写真)

○東の核として、**テナントミックス店舗**を設置し、にぎわいの再生を図る。



アルビ跡地事業計画(完成予想図)